

# 西光寺だより

第四十九号 平成二六年 九月一日発行

「今日の私は これまでの私 今日の私が これからの私」

仏教は、気付きの宗教だと言われています。過去から現在に至るまでの自分の生活、人間性を見つめ直すことで、今ある幸せに「気付くこと」であり、その中で宗教を抛り所に自分以外の人の意見や考えを聞き、最終的に自分なりの答えを導き出していくことが重要なのです。つまり、仏教で一番大切なことは、「自分を見つめ直し、自分自身と冷静に向き合うこと」だということです。では、「どうやって自分自身と向き合うのか」が問題となります。私達は普段、頭や心の中で「あれがほしい」「これは嫌だ」「あの人は好き、嫌い」など、さまざまな感情や欲望（煩惱）に溢れて生活しています。

古代中国の哲学者である老子は「知足」という言葉を残されています。「足るを知る」ということです。字句どおり、十分に満ち足りていることを知り、不足感を持たないということです。私たち人間は、欲が深く、「足るを知る」ということができない生き物です。充分な金や物、名誉や名声、地位、権力を得ても、さらに欲張って、『より多く、もっと欲しい』と、自分に快樂をもたらすものを限りなく追い求めます。まさに、お釈迦様のお説きになられた四苦八苦の中の「求不得苦」です。しかし、人間として生を受けた以上、いたしかたない苦しみの一つです。

今月の言葉「今日の私は これまでの私 今日の私が これからの私」の本意は、過去の出来事もすべて私のこと、未来に待ち構える様々な出来事も私のことと自覚し、現実と向き合う「こころ」が大切であるということなのではないでしょうか。これまでの成功や失敗も含め、一日一日を大切にし、すべて自分のものだと気付ける人生を送っていただきたいと思えます。

（光華小学校「今月の言葉」より）

## ◆九・十月の行事◆

・九月〇  
在家報恩講

\*毎月のお逮夜日を報恩講のお飾りでお待ち下さい。（ローソクは赤）

・九月十八日（木）

大谷本廟墓参（みのり講・穂積講の方）  
午後二時 大谷本廟お茶所

\*墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。

年に一度の西光寺での大谷本廟墓参です。  
皆さままでお参り致しましょう。

・九月二十日（土）

仏教婦人会報恩講  
午後一時 西光寺本堂

・九月二十八日（日）

秋季永代経法要  
午後二時・七時 西光寺本堂

◎御法話 本願寺派布教使 清岡 隆文 師

## ◆先月の報告◆

①八月二十二日（金）主原市の称名寺にて茨木東組子育て支援を行いました。内容としましては、茨木東組十八カ寺の寺院のお子さん達とその保護者（ご門徒の方々やお知り合いの方々）十九名のお子さんと共に腕輪念珠作りと合掌礼拝の作法指導により仏縁を結んでもらうとともに、読み聞かせや水遊びなどを通して同じ立場の者同士の交流を持ち、楽しいひとときを過ごしてもらおう企画でございます。内容はその都度変更致します。朝十時〜十一時三〇分までの時間でしたが、皆さんとなかなか交流できない時間を共に過ごせたこと、感謝しております。

残りあと二回、水尾の勝光寺【九月二十九日（月）午前十時〜十一時三〇分】と西河原の西光寺【来年三月末日予定】で行いますので、ぜひ皆様お時間のある方は西光寺までお問い合わせ下さい。



皆さんで楽しくお念珠作りをしました。



②八月二十七日（水）〜二十九日（金）大阪教区門徒総代会現地研修会が行われ総勢二十八名で参加されました。西光寺からは総代の寺田一雄さんが参加され、今の東北の姿を写真で資料で見せて頂き、お念仏を通して感じられたことをお聞きし、お手紙を頂きましたので西光寺だよりに載せたいと思います。日々の生活に感謝しつつも、改めて同じ日本に住む者として考える必要があると感じた事でございます。

合掌

今回、大阪教区門徒総代会現地研修会に参加し、二〇一一年三月十一日の東日本大震災の現況を知ることが出来ました。当日のテレビその後の色々の報道で大変な事があった事は当時西光寺にしても継職法要を一部中止したり色々対応をして来ましたが、三年五カ月を過ぎ日々その記憶は薄れ、その後の和歌山奈良の被害、九州や福知山、今回の広島等の災害と災害大国の日本であっても、あの東日本の現状を一度と思い今回その機会に恵まれ福島・宮城の両県を二〇〇キロの太平洋岸を見てどこでも言われた事は日々のニュースとして取り扱われることが少なくなり復興は進んでいると思われているが実際は被災物の残骸が取り除かれただけ、かさ上げや後地の計画も進まず何一つ復興物としての各戸の建築は進んでいません。これからの方向も決まらず不安な日々の中、お茶の一杯でも御飯の一杯でも食べに来て下さるあたたかい気持ちになるのです、どなたにも宜しくお伝え下さいと此の声が被災者の方々の真実な気持ちであると考えます。一度この恵まれた茨木に住む者として東北の現地に行き被災者の一助となる機会を考えてもらえれば・・・南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

（寺田一雄様より）

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七二

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>